

ミニデイサービス便り

雪のミニデイ

12年ぶりの大雪で一宮は積雪34cm。翌日は、公民館での移動ミニデイの日。積もった雪と凍てついた道は、すべての用具を運んでいる移動ミニデイにとって最悪のお天気である。こんな大雪に来て下さるかどうかわからないが、開所しないわけにはいかない。まず、公民館入り口の雪かきから始まった。最小限の荷物を車でそろりそろりと運んで、近くに預かってある机と椅子と洋式便座をとりに行く。公民館まで200メートルくらいだろうか。凍てついた道、物を持って歩くのは危ないが何事も経験。一応格好がついて、準備は整った。民生委員さん、スタッフ、ご家族がチェーンをつけての送迎。ひとり、ふたり、結局5人の利用者さんが来て下さった。凍った雪道を、マヒが残るご主人を車椅子に乘せて、奥様が押してこられた。歩いて来れる場所ならではのこと。思いがけないたくさんさんの参加をいただき、当てにして下さっているんだと思いを深くした。あつあつのおでんを皆でいただきながら、ちいちゃなミニデイはいつもより元気だった。

☆3月のミニデイサービス
宮地公民館(精進町)3/2、16 事務所3/9、23

第五回男性のための介護講座閉講

男性のための介護講座が、このほど六回の全日程を終了。二十代から七十代まで全員意欲的な勉強振り、質問が終始飛び交う熱気溢れる講座で始まった。今回は、介護する側とされる側の両視点から学ぶのが特徴。講座後半は高齢者疑似体験や抑制、おむつで寝たきり、食べさせてもらう食事、マヒ想定の入浴体験、調理の勉強など行いました。

◆受講生からは
「こんな講座は初めて。介護される側の体験は、十分な介護をしている積もりだった母への介護を、頭の中でしかわかっていなかったと気づかされるものでした。母に対する接し方が変わるような気がしています。感謝したい。」

◆痴呆の父はおむつ。いつも父は立ったまま、私は向かい合うかたちで、前からおむつを替える。替える度に父に殴られていました。講座で「見られるので恥ずかしいからかもしれませんが、から、後ろにまわって替えてみてはいかかですか」と学び実際に行ったところ、殴るのが止まりました。

◆痴呆であつても人の感性は残っていることに、はじめて気づき、理解できて本当に嬉しく思っています。

◆尊厳ある介護とは、高い教育と技術が必要と実感した。自分勝手な思い込みで相手を傷つける介護だけはしてはならないと感じた。

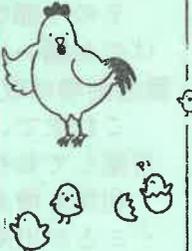
◆などご意見をいただきました。

講座にご支援を下さいました講師の先生方、共催下さいました社会福祉協議会、会場をお貸し下さった中央看護専門学校の皆様には厚く御礼申し上げます。

総会ご案内

ご承知のように、当会では昨年、年度途中に「任意団体・尾張地域福祉を考える会まごころ」から「特定非営利活動法人(NPO法人)尾張地域福祉を考える会まごころ」に改組致しました。つきましては、下記の要領にてこの二つの総会をあわせて行います。会員の皆様はご出席下さい。

- ◆日時・・・平成12年4月22日(土)午後1時～3時30分
- ◆会場・・・一宮スポーツ文化センター 研修室
- ◆第1部・・・第7回定期総会 任意団体「尾張地域福祉を考える会まごころ」(平成11年4月1日～7月13日)
- ◆第2部・・・第2回定期総会 特定非営利活動法人(NPO法人)「尾張地域福祉を考える会まごころ」(平成11年7月14日～平成12年3月31日)



チェック 介護保険

■あわたたしく、混乱しながら、とにかくこの四月から介護保険はスタートする。

◆ケアマネージャーの質
「こなす」ことに追われている事態がすでに起きている。通りでいいかしら」と電話によるケアプラン打診が行われている事実がある。

よく分らないから、高齢者は不安をつのらせているが、介護保険では誰が主役なのか、驚きでしかない。仮に、これまでの事情を把握していたとしても、今までのサービス提供とは全く違うシステムの介護保険サービスである。ケアマネージャーでさえも、理解しがたいような複雑なサービス内容を、高齢者が電話で説明、打診されてもわからないのは当然である。不安な要介護者への対応は、後ではなく、先ず、訪問し納得いく説明をするのが本当であろう。安心して、適切な介護保険サービス利用を受けられるかどうかは、ケアマネージャーにかかっている。

- サービス利用をされる方は、ケアプランの前に次の確認を
- ①ご自身の暮らし全体について話し、困っていることや希望を伝えること。
 - ②ケアマネージャーから、自分が受けられるサービスの内容を詳しく説明を受けること。サービスの種類、内容、費用、あなた自身が使えるサービス限度額及び負担費用、どんな介護事業所や施設があるか、どんな内容なのか、福祉用具や住宅改造の必要や費用、ケア変更や困った時の対応等。
 - ③理解が出来たら、介護を受ける本人や家族の意向に沿って、ケア計画をケアマネージャー又は自分も一緒に作ります。